

新作の能面で「島熊山桜能」

豊中市緑丘の豊中不動尊で24日、新作の能面による「島熊山桜能」が行われ、約150人の能楽ファンが幽玄のひとときを堪能した一写真。

豊中不動尊は、山越えに難渋する旅人の様子が万葉集に歌われた島熊山（標高116㍎）の頂上近くにあり、その風情、歴史を伝えようと7年前から「桜能」が開かれている。

本堂前に設けられた能舞台で、観世流シテ方、山本博通さんらが能「安達原」を舞った。修験者の一行が陸奥の山中で老婆と出会い、一夜の宿を頼むが、老婆の正体は安達原にすむ鬼と分かる。秘密を見られて怒り、食いかかる鬼と、祈る修験者たち。恨み、悲哀、怒りにさいなまれる姿

が演じられた。能面は昨年、不動尊で開かれた島熊山能面祭で大賞に選ばれた作品が使用された。

また、大蔵流狂言方、善竹忠重さんらが狂言「清水」を披露。茶会に使う水くみをめぐる偽物の鬼騒動に、客席から笑いが広がった。

豊中不動尊で幽玄の美



たか 工專月のローンを借りて男性にくくりつけ、警察官約15人がかりで引っ張り上げたという。

■無免許ひき逃げ容疑で浪速区の男逮捕 無免許で車を運転し、男性をはねて逃げたとして、浪速署は24日、自動車運転過失傷害と道交法違反（ひき逃げ、無免許）の容疑で大阪市浪速区幸町、建築内装業、古本誠之（まさゆき）容疑者（66）を逮捕した。「無免許がばれるのがいやだった」と容疑を認めている。

逮捕容疑は23日午後2時10分ごろ、同区幸町の市道交差点で乗用車を無免許運転し、自転車に乗っていた飲食店従業員の男性（26）をはねて軽傷を負わせ、そのまま逃走したとしている。

古本容疑者は約1時間後に同署に出頭した。同署によると平成24年に免許取り消しになり、それから無免許だった。